つるがしま里山サポートクラブ　活動報告書（令和７年度）2025 年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場　所	会員参加数
	5	9	金	9：00	17：00	太田ヶ谷の森・脚折菜園	8
活動名称	小彼岸桜新芽採取					報告者：小沼	

＜活動目的＞

農業大学校跡地進出企業の外構植栽として小彼岸桜苗木提供を申し入れており、提供数の確保を円滑に図れるよう今年度は、挿木本数を増やすこととした。そのため、従来の鉢への挿木とは別に、脚折菜園内に地植え（畳一畳分）を実施した。

＜主な活動内容＞

[太田ヶ谷の森での作業]

○　令和３年に森の北側道路沿いに植栽した小彼岸桜の剪定作業を実施した。剪定で切り出した枝から新芽として挿木にできる部分がある枝を選別した。

○　選別した枝を脚折菜園に運搬。

[脚折菜園での作業]

○　運搬した枝から新芽部分をＴ型に切り出し、ルートン（発根剤）を塗布し、５月７日（木）に地植え（畳一畳分）を制作してあった場所に植栽した。植栽本数 531 本

○　地植え（畳一畳分）にトンネル支柱を差し込み、透明ビニールで覆った。

[太田ヶ谷の森での作業]

○　昼食後、太田ヶ谷の森へ戻り、会員が持ち帰る鉢植えを制作した。

○　鉢植え数は 26 鉢で会員持ち帰り数は以下の通り。

杉山：12，金：1，小嶋:３、柳川:３、阿部：２，村上：5

＜課題・評価＞

鉢植えは、今回は、鉢に鹿沼土等を入れたもののみ制作し、会員が枝を持ち帰り、自宅でＴ型に切り出し、ルートン（発根剤）を塗布し、育苗する方式としたが、発根率がどのようになるか楽しみである。また、脚折菜園の地植え（畳一畳分）は初めての試みで、どのような発根率になるかは不明である。なお、地植え（畳一畳分）は水やりが自宅以外地で必要となるので当面、３人で手分けして実施することとした。

（月曜日担当：橋本、水曜日担当：金、金曜日担当：小沼）

＜里山参加会員＞

杉山、金、小嶋、橋本、柳川、阿部、村上、小沼

＜活動写真＞